

MAISON & OBJET PARIS

scenes d'intérieur PARIS

now! design & cure

MAISON & OBJET éditeurs

MAISON & OBJET | projets |

MAISON & OBJET musées

UBLE ARIS

- 開催期間：2010. 01. 22～26 (5日間)
- 開催場所：パリ・ノール見本市会場
- 主催：プロモサロン (フランス見本市協会)



POINT

- ・2010年度のクリエイター：Philippe Starck (2010クリエイター) Jaime Hayon (インテリア・シーン)
- ・NOW! が、創設10周年 (記念して、フィリップ・スタルクがフランスの若手デザイナーを選出 会場内で展示会を開催)
- ・Leila Menchari の特別参加「放浪者の物語」をエディットール入口にて展示
- ・日本からの出展..... エディットール
  - サンゲツ (4年連続)
  - ニーディック (2年連続)
  - Dan project (初)
- その他の出社 JETRO 含め68社
- ・エディットールから、62社が出展を見合わせ、パリ市内にてDeco Offを開催

見本市の概要

来場者 85,482名 (昨年1月対比13%増)

- |         |            |
|---------|------------|
| 1. イタリア | 6,713名     |
| 2. ベルギー | 3,419名     |
| 3. 英国   | 3,133名     |
| .....   |            |
| 8. 日本   | 1,305名     |
|         | 日本は30.62%減 |



テーマ：CO habitation 共存・共栄

LA COOPÉRATIVE

by Vincent Gregoire



世界に地球にとって「新しい未来の組み合わせ」は何ですか？  
これからは、私たちがお互いと…Weの事を考えなければなりません。  
よりよい世界を目指す為の協力は必須の項目です。  
その観点の上で、私たちの個人に焦点を再び合わせて考える事が大切です。  
共同体、集合体をまず考える必要があるのです。



これからは私たちは、共存することを学ぶのが、とても大切な事になります。  
都市の暮らしにおける様々な世代、様々なかたちの家族、異文化、都市、および自然を考えつくり取りの方法で、共存させる事を考えましょう。

「家」はそれぞれの違いを共存 (和解) させる事の出来る、新しい「場」になります。  
共存する方法が見つかった時、今までは大きく変わった私たちのライフスタイルを見る事が出来るでしょう。

hybrid

by Francois Bernard



これからの暮らしでは、日常生活の中心に自然を置いて、中と外の境界を無くす事が重要です。  
そして、それは全ての技術と結びつく事になります。  
大規模な都会化の時代に、都市生活をよりすばらしいものにする為に自然に近づかなければなりません。  
幸福になるためにオリジナルの、慈善の新しいカテゴリを作り出す必要があるのです。



TRANSCULTURES

by Elizabeth Leriche



お互いの国の文化を理解し分かち合い、違いを共有する事。このことは、創造性を豊にし私達の暮らしを今まで以上にすばらしいものにしてくれるでしょう。  
それには、芸術とデザインの手助けが必要です。  
文化や伝統を理解した上で、世界の多様性を持った皆が共有出来る、グローバルな文化の出現を目指しましょう。

